

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、横ばい圏内の動きとなった。

最終需要の動向をみると、住宅投資は横ばい圏内の動きとなったものの、公共投資は増加基調を維持している。また、個人消費も底堅く推移している。この間、設備投資は前年を下回る動きとなっている。

こうした中、生産は引き続き弱含みの動きとなった。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資・・・増加基調

8月の公共工事請負金額は、国、市町村が増加したものの、県などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲0.5%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 6月	7月	8月
山形県	▲17.6	81.5	82.2	75.9	0.9	▲0.5

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

#### (2) 設備投資・・・前年を下回る動き

7月の建築着工床面積（民間非居住用）は、卸・小売、医療・福祉などが増加したものの、製造業、農林水産業などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲33.9%）。

6月短観における2019年度の設備投資計画（全産業）は、前年度を下回る計画（前年度比▲34.1%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 5月	6月	7月
山形県	10.9	▲20.4	▲59.5	▲54.7	▲52.4	▲33.9

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2019年6月山形短観） 前年度比、%

山形県	2017年度（実績）	2018年度（実績）	2019年度（計画）
全産業	47.5	3.2< 13.0>	▲34.1< 2.1>
製造業	70.7	▲9.0< 17.0>	▲33.9<▲2.2>
非製造業	16.5	26.5< 7.8>	▲34.3< 8.6>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

### (3) 個人消費 …… 底堅く推移

7月の百貨店・スーパー販売(全店ベース)は、飲食料品などが減少したことから、全体では前年を下回った(前年比▲4.7%)。この間、ドラッグストアは前年を上回ったものの、コンビニエンスストア、ホームセンターは前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2018年 10~12月	2019年 1~3月	4~6月	2019年 5月	6月	7月
全店	▲3.8	▲2.3	0.1	0.3	1.3	▲4.7
既存店	▲2.4	▲1.3	▲0.6	▲0.4	0.6	▲5.4

〈資料〉経済産業省

8月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った(前年比4.4%)。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 6月	7月	8月
乗用車 合計	▲4.2	8.3	▲4.5	▲4.8	0.7	4.4
普通車	9.0	5.9	▲4.1	▲8.6	4.6	▲0.4
小型車	▲6.6	4.0	▲6.6	▲6.4	5.5	▲3.4
軽四輪	▲10.7	14.7	▲3.0	0.1	▲6.8	16.5

〈資料〉東北運輸局

### (4) 住宅投資 …… 横ばい圏内の動き

7月の新設住宅着工戸数は、貸家、分譲が増加したものの、持家が減少したため、全体では前年を下回った(前年比▲2.6%)。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 5月	6月	7月
山形県	▲6.7	50.5	▲3.9	28.2	17.8	▲2.6
持家	0.6	15.9	21.2	6.3	▲3.6	▲29.3
貸家	▲12.0	18.6	▲23.7	70.8	▲24.3	60.6
分譲	▲22.7	3.9倍	▲11.6	13.0	4.2倍	13.6

〈資料〉国土交通省

### 3. 生産・・・弱含み

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った（前月比▲4.0%）。業種別には、化学、印刷など6業種が上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など16業種が低下した。6月の在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比2.6%）。

（図表7） 鉱工業指数

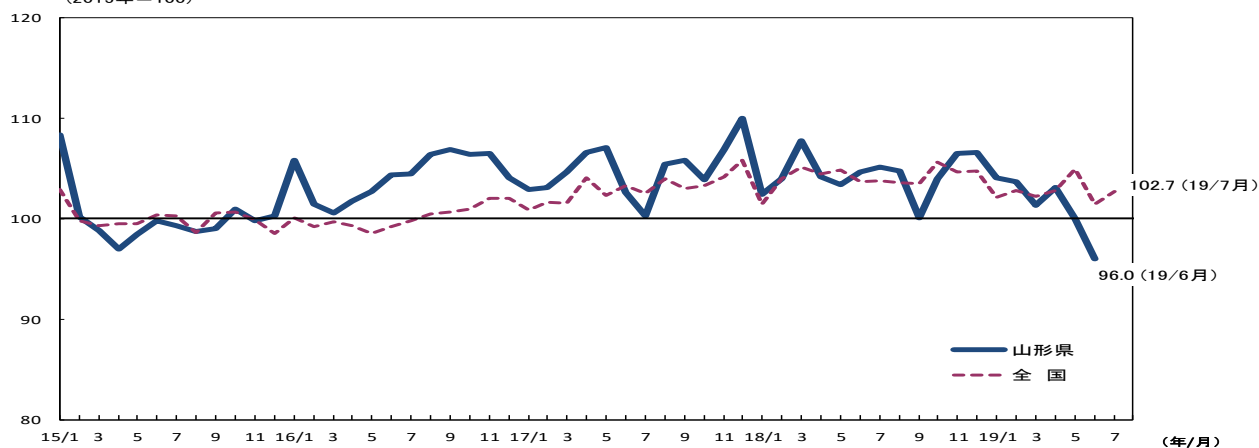
2015年基準

山形県		2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 4月	5月	6月
生 産	季節調整済前月比%	r ▲4.4	r 0.1	r ▲2.3	r 1.8	▲3.0	p ▲4.0
	原指数前年比%	r ▲8.9	r ▲4.5	r ▲7.7	r ▲1.3	▲7.2	p ▲9.8
在 庫	季節調整済前月比%	9.6	r 2.3	r 6.7	r ▲5.4	0.7	p 2.6
	原指数前年比%	r ▲1.3	r ▲0.1	r 7.1	r ▲0.2	▲0.6	p 2.0

〈資料〉 山形県企画振興部

（図表8） 鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2015年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

### 4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.45倍となった。業種別の新規求人数は、建設、医療・福祉などは増加したものの、製造業、サービス業、卸・小売などが減少した。7月の雇用保険受給者は、前年を上回った（前年比7.5%）。

（図表9） 雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2018年 10～12月	2019年 1～3月	4～6月	2019年 5月	6月	7月
有効求人倍率	1.66	1.62	1.54	1.54	1.52	1.45
完全失業率	1.2	1.7	1.5	—	—	—
雇用保険受給者	〈1.9〉	〈▲0.1〉	〈2.2〉	〈▲2.8〉	〈2.2〉	〈7.5〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は、引き続き前年を上回った（前年比1.7%）。業種別には、宿泊・飲食サービス、建設などは前年を下回ったものの、教育・学習支援、卸・小売などは前年を上回った。

6月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲11.4%）。業種別には、生活関連サービス、教育・学習支援などは前年を上回ったものの、製造業、運輸・郵便などは前年を下回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 4月	5月	6月
常用雇用指数	2.3	1.4	0.4	2.3	2.5	1.7
所定外労働時間	▲8.5	▲13.6	▲9.5	▲9.3	▲6.9	▲11.4

〈資料〉山形県企画振興部

6月の現金給与総額（名目賃金指数）は、建設、サービス業などは増加したものの、製造業、医療・福祉などが減少したため、前年を下回った（前年比▲1.9%）。

6月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲1.2%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 4月	5月	6月
現金給与総額 (名目賃金指数)	▲2.7	▲1.7	▲2.4	▲1.1	▲0.7	▲1.9
きまって支給 する給与	▲2.3	▲2.7	▲1.5	0.1	▲1.3	▲1.2

〈資料〉山形県企画振興部

## 5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

8月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（4件）、負債総額（3.6億円）とも引き続き低水準（＜前年同月＞倒産件数4件、負債総額7.5億円）。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 6月	7月	8月
件数	6	5	7	5	4	4
負債総額	13.0	1.8	8.5	7.7	1.7	3.6

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

## 6. 物価・・・前年を上回る動き

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、光熱・水道、諸雑費などが前年を上回ったことから、全体でも前年を上回った(前年比0.4%)。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 5月	6月	7月
総合	1.2	0.4	0.8	1.0	0.8	0.5
生鮮食品を除く総合	1.1	0.7	1.3	1.1	0.5	0.4

<資料>山形県企画振興部

## 7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比0.6%)。一方、7月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を下回った(前年比▲1.0%)。

この間、7月の貸出金利は前月からわずかに低下した(前月比▲0.007%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2018年 9月	12月	2019年 3月	2019年 5月	6月	7月
実質預金+CD (末残前年比)	0.4	0.3	0.0	0.6	0.7	0.6
貸出金 (末残前年比)	0.5	0.3	▲0.1	▲0.4	▲0.8	▲1.0

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。  
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。  
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。  
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。  
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2018年 10~12月	2019年 1~3月	4~6月	2019年 5月	6月	7月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.003	▲0.004	▲0.004	▲0.001	▲0.003	▲0.007

7月末水準  
1.006%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)  
 日本銀行山形事務所  
 TEL: 023-622-4004